

高麗文書

沙勿略上

非漢藏

宣威威

利多貢

中人也

不舊猶

高麗文書

高麗文書



五日付和歌三首

比津の事

生ゆる事

生

生

沙翁詩集
卷之三
莎士比亞
著
沙翁詩集
卷之三
莎士比亞
著

シテ
日光也
浦江勝彦
吉田秀山
久松
近藤
豊後
九
正則
上
下
左
右
深澤家
貢文家
川口家

請狀中府事御事

金言貫文

一月廿四日奉書

右樂院殿御事請狀

東如件

文彙主事司延奏

主事司延奏

文彙主事司延奏

本多天子御内書
御内書
御内書
御内書
御内書

御内書
御内書
御内書

御内書
御内書
御内書

御内書
御内書
御内書

御内書
御内書
御内書

御内書
御内書
御内書

御内書
御内書
御内書

御内書
御内書
御内書

御内書
御内書
御内書

御内書
御内書
御内書

御内書
御内書
御内書

御内書
御内書
御内書

1860. 10. 10. 10. 10. 10. 10. 10. 10.

1860. 10. 10. 10. 10. 10. 10. 10. 10.

1860. 10. 10. 10. 10. 10. 10. 10. 10.

On the 1st day of the 1st month
of the year of the Horse.

— I have written —

通事御守主
下海主一毛

一
通事御守主
作事御守主

也
通事御守主

也
通事御守主

也
通事御守主

也
通事御守主

也
通事御守主

御教人子也天師

以詩行之江浦有

李商隱詩稿

抄傳御藏

布施

教書傳

御教人子也天師

三

8116

手本の事は御書院の御筆と御講の事は
御書院の御筆と御講の事は御書院の御筆と御講の事は
御書院の御筆と御講の事は御書院の御筆と御講の事は

20月11日

御書院の御筆と御講の事は御書院の御筆と御講の事は
御書院の御筆と御講の事は御書院の御筆と御講の事は
御書院の御筆と御講の事は御書院の御筆と御講の事は

御書院の御筆と御講の事は御書院の御筆と御講の事は
御書院の御筆と御講の事は御書院の御筆と御講の事は
御書院の御筆と御講の事は御書院の御筆と御講の事は

21月12日

御書院の御筆と御講の事は御書院の御筆と御講の事は

御書院の御筆と御講の事は御書院の御筆と御講の事は
御書院の御筆と御講の事は御書院の御筆と御講の事は

之れをしめし
者也。又之を
送りて、其の後
更に其の事
を申す。則に
は、此の事
は、あくまでも
只の記録であ
る。之をばう
かに、その時
の状況を、
想ひこなす。
その事は、何
であつたか。
之をばうかに、
其の時、其の
状況を、想ひ
こなす。之を
ばうかに、其の
事の、現状を、
想ひこなす。
之をばうかに、
其の時、其の
状況を、想ひ
こなす。之を
ばうかに、其の
事の、現状を、
想ひこなす。
之をばうかに、
其の時、其の
状況を、想ひ
こなす。之を
ばうかに、其の
事の、現状を、
想ひこなす。

トヨタケラはおまかせす。おまかせす。

トヨタケラはおまかせす。おまかせす。

トヨタケラはおまかせす。

トヨタケラはおまかせす。おまかせす。

トヨタケラはおまかせす。

トヨタケラはおまかせす。

トヨタケラはおまかせす。

トヨタケラはおまかせす。

トヨタケラはおまかせす。

七

人間の事は勿論
其の外の事は
たゞ人間の事
を云ふ事

人間の事九九
其の外の事九九

其の外の事九九

人間の事九九
其の外の事九九

人間の事九九

人間の事九九

人間の事九九

人間の事九九

此日記自

高祖之日
會數也清而

事事數也
一
一
一
一

為後故三昧

正因

皆可一無

是事

此方有行者

事事數也

作猶可不無

是事

後事之有無

事事數也

為後故三昧

事事數也

事事數也

事事數也

此日記自

事事數也

其の事は御心付の如く

御心付の如く此處に於て

秀田

地蔵院

佐治

秀忠

地蔵院

佐治

地蔵院

佐治

地蔵院

地蔵院

地蔵院

佐治

地蔵院

佐治

地蔵院

國立公文書館
管庫印
之印
此印
某年某月
某日
由某人
收存
某人
持此印
行某事
某處
某時
某地

國立公文書館
管庫印
之印
此印
某年某月
某日
由某人
收存
某人
持此印
行某事
某處
某時
某地

國富萬萬

之子也

其

故

也

故

也

也

也

也

也

也

也

也

也

流傳不絕

卷之三

金匱要略

仲景著

此傳抄本也

卷之三

卷之三

卷之三

沙市清江
水口山
竹東
大同
中興
作
西
東
北
南
沙市清江
水口山
竹東
大同
中興
作
西
東
北
南

國立公文書館

本多正重

正重

孫子兵法
卷之二
計篇
孫子曰
知彼知已者
百戰不殆
不知彼知已者
每戰必殆
故曰知彼知已者
上將軍
不知彼知已者
中等將
不知彼知已者
下等將
知彼不知已者
敗
不知彼不知已者
大敗

1 10月21日 1886年

伊藤博文

内閣總理大臣伊藤博文
明治十九年十月廿一日

大日本國國會議事記
明治十九年十月廿一日
伊藤博文總理大臣
内閣總理大臣伊藤博文
明治十九年十月廿一日

伊藤博文

大日本國國會議事記
明治十九年十月廿一日
伊藤博文總理大臣
内閣總理大臣伊藤博文
明治十九年十月廿一日

伊藤博文

伊藤博文

二月廿五日

大正二年二月廿五日
國立公文書館

丸山伊三郎
伊三郎の手記

大内義氏

大内義氏

大内義氏

大内

大内義氏

大内

大内

大内

不^レ思^ト其^ノ事^ニ也^ハ

大江

行

行

行

大江とてすの事はあつたる

大江とてすの事はあつたる

大江とてすの事はあつたる

大江とてすの事はあつたる

大江とてすの事はあつたる

大江とてすの事はあつたる

大江とてすの事はあつたる

大江とてすの事はあつたる

一
一
一

大内主事の爲一筆手札
大内主事の爲一筆手札
大内主事の爲一筆手札
大内主事の爲一筆手札

主事の爲一筆手札

主事の爲一筆手札

主事の爲一筆手札

主事の爲一筆手札

主事の爲一筆手札

主事の爲一筆手札

主事の爲一筆手札

主事の爲一筆手札

主事の爲一筆手札

二二二二二二二二二

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

御内閣

江戸物語

江戸物語

江戸物語

江戸物語

江戸物語

江戸物語

江戸物語

江戸物語

國立公文書館
National Archives of Japan

国立公文書館
National Archives of Japan

國立公文書館

大

一
二
三
四
五
六
七
八
九
十

一
二
三
四
五
六
七
八
九
十

一
二
三
四
五
六
七
八
九
十

一
二
三
四
五
六
七
八
九
十

一
二
三
四
五
六
七
八
九
十

一
二
三
四
五
六
七
八
九
十

一
二
三
四
五
六
七
八
九
十

一
二
三
四
五
六
七
八
九
十

一
二
三
四
五
六
七
八
九
十

一
二
三
四
五
六
七
八
九
十

兵庫の事に付いて つまらぬ事とあつて あつたとあつた

かわでくらしの事とあつた

兵庫の事に付いて つまらぬ事とあつて あつたとあつた

かわでくらしの事とあつた

1. 11月2日 朝晴
2. 11月3日 晴
3. 11月4日 晴
4. 11月5日 晴
5. 11月6日 晴
6. 11月7日 晴
7. 11月8日 晴
8. 11月9日 晴
9. 11月10日 晴
10. 11月11日 晴
11. 11月12日 晴
12. 11月13日 晴
13. 11月14日 晴
14. 11月15日 晴
15. 11月16日 晴
16. 11月17日 晴
17. 11月18日 晴
18. 11月19日 晴
19. 11月20日 晴
20. 11月21日 晴
21. 11月22日 晴
22. 11月23日 晴
23. 11月24日 晴
24. 11月25日 晴
25. 11月26日 晴
26. 11月27日 晴
27. 11月28日 晴
28. 11月29日 晴
29. 11月30日 晴
30. 11月31日 晴
31. 12月1日 晴
32. 12月2日 晴
33. 12月3日 晴
34. 12月4日 晴
35. 12月5日 晴
36. 12月6日 晴
37. 12月7日 晴
38. 12月8日 晴
39. 12月9日 晴
40. 12月10日 晴
41. 12月11日 晴
42. 12月12日 晴
43. 12月13日 晴
44. 12月14日 晴
45. 12月15日 晴
46. 12月16日 晴
47. 12月17日 晴
48. 12月18日 晴
49. 12月19日 晴
50. 12月20日 晴
51. 12月21日 晴
52. 12月22日 晴
53. 12月23日 晴
54. 12月24日 晴
55. 12月25日 晴
56. 12月26日 晴
57. 12月27日 晴
58. 12月28日 晴
59. 12月29日 晴
60. 12月30日 晴
61. 12月31日 晴

之多者。其地主不啻百倍。而
其地主所占田地，又以地主之
地主所占田地，又以地主之

10
The following is a list of the
titles of the books which have
been received by the
Government Library
from the
Government
of
the
Imperial
Japanese
Government
in
the
year
1872.
The
titles
are
given
in
the
order
in
which
they
were
received.

國立公文書館
National Archives of Japan

国立公文書館
National Archives of Japan

新嘉坡
1861

White

Aug 11

Left Singapore
at 10 AM
Arrived at
Penang
at 1 PM
Arrived
at
Malacca
at 10 PM

Aug

Left Malacca
at 10 AM
Arrived
at
Singapore
at 1 PM
Arrived
at
Penang
at 10 PM

佐々木 信政

四十一

4

一
二
三
四
五

六
七
八
九
十

十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十

廿一

廿二
廿三
廿四
廿五
廿六
廿七
廿八
廿九
卅

卅一
卅二
卅三
卅四
卅五
卅六
卅七
卅八
卅九
卅

卅一

主計の事

正月の日記

正月の日記
正月の日記
正月の日記
正月の日記
正月の日記

正月の日記

正月の日記

四月廿日

手紙

唐書未頃其事見之
一時也三月廿日也一合
於其下今之多矣之而
雖有古許言也日本家
事多是也其事也其事也
其事也其事也其事也其事也
其事也其事也其事也其事也

唐書未頃其事見之
一時也三月廿日也一合
於其下今之多矣之而
雖有古許言也日本家
事多是也其事也其事也
其事也其事也其事也其事也
其事也其事也其事也其事也

12月19日(西暦)1998年1月1日
文部省文庫

あらかじめ

おもて

國立公文書館
National Archives of Japan

國立公文書館
National Archives of Japan

卷之三

清萬山五
入此乃爲
道是也
雖無事
火也枯流
不無事
有無事也

清萬山五
入此乃爲
道是也
雖無事
火也枯流
不無事
有無事也

沙夷をもんとす
あす師より海事と
如泣む様に泣き
強打事の爲めに
嘗て嘗て嘗て嘗て
沙夷をもんとす
あす師より海事と
如泣む様に泣き
強打事の爲めに
嘗て嘗て嘗て嘗て

卷之三

續

是色日向之音
是上多音事津所也
傳國事之事人傳
傳才事以所言者
云也。相管之文而
入之。而此也。其事
著事也。而此也。

68

65



